

由利本荘市農業委員会だより

あなたと農地。

2026(令和8)年
1月発行

第39号

西目小3年生 りんごの 葉摘みに挑戦!

陽の光をたっぷり浴びた
ふじりんごが、真っ赤に
色づく日を楽しみにする
子どもたちの姿があり
ました。



「拓農りんご園」(西目大森台・令和7年10月中旬)



市農業委員会
ホームページ



由利本荘市農業委員会

会長 富樫 公一

新年のごあいさつ

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

日頃より、本市農業委員会の活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、猛暑や記録的な少雨・干ばつの影響により、地域によっては米の収量が減少し、さらに主食用米の作付け縮小や肥料・燃料など資材価格の高騰も重なって、米価が上昇・高止まりする一年となりました。その結果、消費者の皆さまからは価格高騰へのご不満の声が、農家からは米離れへの不安の声が聞かれるなど、厳しい状況となりました。

一方で、長年にわたる低米価のもとで苦しい経営を続けてきた生産者にとつては、ようやく再生産への意欲を持てる水準に戻ったという現実もあります。しかしながら、主食である米の安定的な生産を将来にわたって続けていくためには、生産者と消費者が互いに理解し、納得できる米価のもとで共に支え合うことが大切です。

昨年は、国の米価対策も注目されましたが、その議論の中で現場の農家の声が十分に届かなかったことは、誠に残念であります。

本市でも地域計画の策定を通じて、持続可能な農業の仕組みづくりを進めてまいりましたが、再生産が可能な米価が維持されなければ、将来の担い手がいなくなる恐れもあります。どうか消費者の皆さまにおかれましても、地域農業への一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

本年も委員一同、地域農業の発展と持続可能な未来の実現に向けて全力で取り組んでまいります。昨年以上のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のごあいさついたします。

本年もどうぞよろしくお願ひします

農業委員・

農地利用最適化推進委員一同

【会長】

富樫 公一（本荘）

【会長職務代理者】

佐藤 喜勝（岩城）

【農業委員】

佐藤 崇（鳥海）

小松 健（東由利）

齋藤 誠（西目）

庄司 和夫（由利）

佐々木 亨（大内）

伊藤 直子（大内）

菅原 文克（本荘）

板垣 利明（本荘）

三浦 幸夫（大内）

吉尾 麻美（岩城）

巴 寛（由利）

佐藤 源樹（鳥海）

佐藤 榮一（矢島）

畑山 留美子（矢島）

佐々木 剛（大内）

伊藤 剛（由利）

加藤 三敏（大内）

大瀧 浪雄（本荘）

佐々木 純一（本荘）

小野 晃一（東由利）

豊島 靖喜（矢島）

真坂 和都（鳥海）

【農地利用最適化推進委員】

※地域毎五十音順

伊藤 一正（本荘）

猪股 寿人（本荘）

金門 清二（本荘）

大間 護（本荘）

本間 初（本荘）

佐藤 角栄（矢島）

佐藤 博美（矢島）

新田 富士雄（岩城）

吉田 真大（岩城）

五十嵐 幸司（由利）

庄司 昭一（由利）

長谷川 智明（由利）

伊藤 美恵子（大内）

菊地 裕子（大内）

佐々木 高志（大内）

畠山 実（大内）

遠藤 良夫（東由利）

古関 幸子（東由利）

齋藤 幸衛（西目）

三浦 善信（西目）

赤川 隆昌（鳥海）

梶原 昌章（鳥海）

三船 勘一（鳥海）



農業にチャレンジ!



▲凛と立ち並ぶリンドウのつぼみ

◆**農業を始めたきっかけ**
 高校を卒業後、10年以上関東で暮らしていました。コロナ禍で職場を失った際に帰郷を決めたのですが、「どうせ帰るなら、秋田でこそできることをやろう」と思い、就農を目指しました。

◆**取り組んでいる品目**
 リンドウを20アール栽培しています。就農を考えた時、農業といえば誰もが思い描くのが、米、野菜、果樹などの「食べ物」です。それなら自分の今までの人生において一番縁のなかった「花」に挑戦してみようと思いい、JAからの勧めもあり、リンドウの栽培に取り組むことにしました。



おかみ ゆうと
岡見 雄人 さん
 大内地域 岩谷麓 (35歳)

◆**仕事の内容**
 雪解け後から施肥、手入れ、防除など花の生育管理を行い、夏には出荷が始まります。収穫後は残った茎を刈り取って資材を片付ける冬支度をします。

◆**仕事で大変なこと**
 夏場での昼間の酷暑を避けるため、出荷がある日は夜中の3時頃から作業を始めなければならないことと、雑草への対処が大変です。

◆**工夫していること**
 タイムスケジュールを整え、出荷・収穫日と選別作業を交互に行うよう工夫しています。さらに、日々気付いたことはすぐにメモにまとめ、適宜仕事内容に反映させることで、少しでも効率が良いよう努めています。

◆**仕事のやりがい**
 収穫期が終わった時の解放感と、自分の頑張りを数字で確認した時の達成感にやりがいを感じます。

◆**今後の課題**
 改善しなければならないところは書き切れないです(笑)。特に、何をするにも人手が必要なので、働き手を確保することに苦心しています。

◆**これから目指すこと**
 規模拡大と品質の向上を目指しています。また、出荷以外にも収益を確保するような取り組みをしていきたいです。
 (担当委員 伊藤 直子)

農業者年金で安心豊かな将来を!

**年間60日以上
農業に従事**

**国民年金第1号
被保険者**

国民年金の保険料納付免除者を除く

20歳～65歳未満

60歳以上は
国民年金の任意加入被保険者

上記の要件を満たす方なら
どなたでも加入できます

農業者年金制度について

1. 積立方式

加入者や受給者数の影響を受けない安定した年金制度

2. 終身年金

保険料が全額社会保険料控除の対象

※もしも80歳の前に亡くなられた場合は死亡一時金があります。

若年層には、保険料の国庫補助による政策支援があります。

農業者年金への加入要件に加え、一定の要件を満たす20歳～39歳が対象です。詳しくは、お問い合わせください。



↑ 農業者年金
シミュレーター
↑ 農業者年金加入のすすめ
年金を試算することができます

※農業者年金に加入される方は、国民年金の付加年金(付加年金保険料 月額400円)への加入が必要です。
 ※農業者年金と国民年金基金(旧みどり年金含む)および個人型確定拠出年金(iDeCo イデコ)とは重複加入できません。

農業委員会組織が発行する農業に関する総合専門誌です



全国農業新聞

<https://www.nca.or.jp/shinbun/>

◆発行所/全国農業会議所
 ◆発行/月4回 金曜日
 ◆購読料/月700円(年8,400円・税込)
 購読申込みは農業委員会事務局まで

農業を未来へつなぐ若者たち



タマネギ栽培に挑む



タマネギ栽培の一年

育苗 → 定植 → 栽培管理 → 収穫・調製

2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月

双日由利農人株式会社（由利本莊市西目）は、由利本莊市松ヶ崎の有限会社折林ファーム、同市西目の株式会社由利清掃サービス社、東京都の双日農業株式会社の3社が出資して設立された会社です。令和5年3月に、地域の生産者とともに、タマネギの産地化に着手し、国産タマネギの通年供給を目指しています。令和7年11月の取材では、タマネギの選果作業に励む若者3人と、三浦取締役にお話を伺いました。

青空の下で迎えるタマネギの収穫
(西目地域海土剥のほ場)



豊かに実ったタマネギの収穫作業



インタビュー／大瀧 浪雄 委員

Q タマネギの選果作業はいつ行われますか

作業は、7月から11月にかけての時期に行っています。

Q ここには、どのぐらいの量のタマネギがありますか

40トぐらいあります。

Q 農業の未来を担う若者について、どう思いますか

若い人達が元気に作業をしている姿を見ると、これまで農業に携わってきた者も、その姿に励まされ、これからも頑張っていこうと思います。



みうら とくや
三浦徳也取締役(45歳)



タマネギの品質を見極める

若手農業者3人に伺いました



ふじもと りく
藤本 理玖さん(27歳)

Q 皆さんはどういった作業をしていますか

播種・育苗・定植・収穫・出荷とタマネギに関わる一連の作業を行っています。

Q 作業はどうですか

大きいタマネギが出てきた時、「楽しいな」「やってて良かったな」と思います。

Q 農業を始めることになったきっかけは

自分たちが食べる野菜・米を自分たちで作ることが魅力的だと思ったからです。

Q どうしてタマネギ栽培を選んだのですか

野菜の中でタマネギが一番の好物だからです。

Q 実際に取り組んでみてどうですか

大変なこともありますが大きく、良いタマネギを収穫・選果・出荷できた時の喜びはとても大きいです。



さくさべ たけし
作左部 雄さん(38歳)

Check!



インタビューの様子の
YouTube動画



ほそや けん
細谷 健さん(39歳)

Q タマネギ栽培作業の中で、特に楽しいと感じるところはどんなところですか

もともと農業が大好きなので、タマネギ栽培の作業はどれも楽しいです。

Q タマネギ栽培の中で、大変だと感じることはありますか

やはり天候に左右されるところです。

Q そのような時、どのように乗り越えていますか

天気予報をこまめにチェックしながら、状況に合わせて臨機応変に対応できるように頑張っています。



インタビュー/吉尾 麻美 委員

藤本さん：
由利本荘市を
タマネギの産地として
確立することです

僕たちの
夢



細谷さん：
次期社長です!!

作左部さん：
市内外の若手農業者と
ともにタマネギを作る
ことです



収穫後のタマネギを選果作業で仕分け



一つひとつ丁寧な手作業での選別



品質を守るための大切な工程



収穫されたたくさんの
タマネギ
(松ヶ崎地域にある
選果作業所)



農業委員会 委員会活動 ご紹介

農業委員・
農地利用最適化推進委員の活動から



〈東由利〉

9/19 農業者等との意見交換会

東由利地域の法人代表、農業者などの皆さんと意見交換を行いました。

現場で熱心に取り組まれている農業者の率直な意見を伺い、農業委員会としても地域農業の発展に向けて共に歩んでいきたいと考えています。



〈にかほ市〉

鳥海山を望む店先にて

6/6 由利本荘市・にかほ市 女性農業委員合同研修会

にかほ市の女性農業委員と合同で研修会を開催しました。にかほ市の本格ピザが評判の「まさえんZERO」を会場に、食事をしながら、女性が農業で活躍するためにどうしたらいいか話し合われました。



令和7年度 秋田県農業委員会大会 〈湯沢市〉

11/1 秋田県農業委員会大会

湯沢文化会館において開催された大会には、農業委員、推進委員19名が出席しました。

本県農業の維持・発展と農村の振興に向け、農業委員会組織の役割を改めて確認し合い、理解を深めました。大会で決議された事項については、政府や県選出国會議員など関係機関へ要請してまいります。



〈大潟村〉

7/22 独自研修会

独自研修として(株)ジャパン・パックス秋田を視察しました。機械化による効率運営のもと、安心・安全なパックスが生産されている様子を学びました。今後、農業委員活動における効率的な農業の推進に活かしていきたいと感じました。

地域への想いにあふれたあなたも農業委員会で活動しませんか？



地域農業のため、
農地利用の最適化に
取り組んでいます

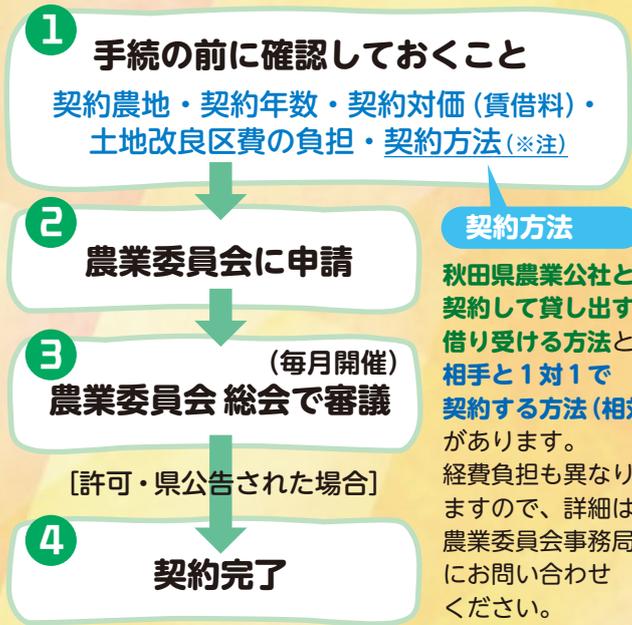
農業者を代表し、
現場の声を
行政に伝えています



農地を守る責任感と
農地を活かす達成感
があります

あなたも
**農業委員
推進委員**
になりませんか？

●貸し借りの相手が決まっている場合



契約方法
 秋田県農業公社と契約して貸し出す、借り受ける方法と、相手と1対1で契約する方法(相対)があります。経費負担も異なりますので、詳細は農業委員会事務局にお問い合わせください。

●貸し借りの相手が決まっていない場合

- ◆自己所有農地の近接農地を耕作する農家さんに相談・声かけしましょう。
- ◆農業委員会に相談しましょう。

●相続登記しない場合のデメリット

- 農地の譲渡 ⇒ できません **相続登記必須**
- 農地の貸借 ⇒ できますが... **相続権者 過半の同意が必要**

どなたが相続権者なのか確認する必要があるため、相続関係図作成の上、相続関係を証明する戸籍等の資料をご提出いただきます。また、同意書は同意者の実印による捺印と、印鑑登録証明書をご提出いただきます。

相続登記をしていなくても農地の貸し借りはできますが、相続登記手続とほぼ同等の書類をご準備いただくこととなりますので、相続登記完了後の手続をお勧めします。

- 相続登記の 秋田地方法務局 本荘支局 手続は法務局へ ☎0184-22-1200
- 相続登記の手続代行は司法書士へ 秋田県司法書士会 相続登記相談センター ☎018-824-0055

農地の貸し借りは 許可が必要が必要です

農地の相続登記をしましょう

相続登記は義務化されています



11/20

市長へ提出

「令和8年度 農地等利用最適化推進施策に関する提案書」を提出

委員全員協議会において決議された提案書を会長、各委員長が市長および市議会議長へ提出いたしました。



議長へ提出

地域の農地を守り、接続可能な農業・農村を創るためには、あなたの力が必要です。



農業者の話を親身に聞くコミュニケーション力や共感性など持ち味を活かし、全国で女性の農業委員、農地利用最適化推進委員(推進委員)が多く活躍中!

